

PRESS RELEASE FROM NATURE PUBLISHING GROUP
8 January 2009
For immediate release

Contact: Grace Baynes
Corporate PR Planner, Nature Publishing Group
T: +44 (0)20 7014 4063
g.baynes@nature.com

The Macmillan Building
4 Crinan Street
London N1 9XW
UK
T: +44 (0)20 7833 4000
F: +44 (0)20 7843 4640
www.nature.com

ネイチャー・パブリッシング・グループと社団法人高分子学会が『Polymer Journal』誌の共同発行へ

本日、ネイチャー・パブリッシング・グループ（NPG）と社団法人高分子学会（SPSJ）は、2010年1月より『Polymer Journal』誌を共同発行することを発表しました。今回締結された契約の一環として、2009年には同誌のさらなる発展を目指した一連の準備作業が行われ、表紙やウェブサイトのデザイン、論文・記事の構成も一新されます。そして同誌は、2010年に再スタートします。

東京に駐在するディビッド・スウィンバンク（NPG パブリッシングディレクター）は、次のように話します。「このたび、高分子学会とともに、『Polymer Journal』誌のさらなる前進に携わることをうれしく思っています。NPG ネイチャー アジア・パシフィックは、アジア太平洋地域の重要な科学者や臨床医の団体との提携プログラムを進めていますが、ここに『Polymer Journal』誌というエキサイティングなパートナーが加わることとなりました。NPG の学術・学会ジャーナル誌プログラムに初の物理科学系ジャーナル誌として参加する『Polymer Journal』誌を歓迎します」。

高分子学会会長の澤本光男（さわもと みつお）京都大学教授は、桂キャンパスにて、次のように語っています。「世界有数の出版社である NPG との新たな共同出版は、当学会の伝統ある英文論文誌 Polymer Journal にとって新たな時代の幕開けを意味します。今回の共同出版により、同誌が国際的により広く認知され、科学者にとってきわめて重要な情報源となるとともに、世界の高分子学界を先導するフォーラムとなるように期待しています。さらに、このような論文発表と議論の場へと発展することにより、Polymer Journal が高分子科学と関連分野の進歩に貢献できるものと確信しています。これを機会に、世界の幅広い研究者各位からの最新成果の御投稿と御支援を改めてお願いする次第です。諸分野を融合して着実に進展しつつある高分子科学において、Polymer Journal が第一線の学術誌としてさらに世界にはばたくために、高分子学会と編集委員会は全力を尽くす所存です。」

高分子学会は、1万2,000名の会員を擁する世界最大の高分子科学の学会で、1951年に設立されて以来、日本と全世界の高分子科学技術の発展に寄与してきました。そして1970年には英文原著論文誌 Polymer Journal を創刊し、現在に至っています。同誌の対象領域は、高分子合成、高分子反応、高分子構造、高分子物性、機能性高分子、生体高分子、高分子工学など高分子科学の全領域に及んでいます。

Polymer Journal 誌は、NPG の多数の自然科学分野刊行物とも密接に関連しており、NPG の主力誌『Nature』をはじめ、『Nature Materials』、『Nature Physics』、『Nature Nanotechnology』などの Nature ブランドのジャーナルには、高分子科学に関連する重要な論文が頻繁に掲載されています。また、同じく NPG から『Nature Chemistry』が近く創刊されますが（2009年4月予定）、これも今回の Polymer Journal 誌の共同出版にとっても時宜を得たものといえます。

高分子学会は、『Polymer Journal』誌のために、NPG の強みである高度な編集知識、先駆的技術、革新的なフォーマット、世界一流のプロダクションを活用し、国公立、私立の研究機関、政府関係

機関に所属する研究者や教育者に最高レベルの情報を提供できるようになります。高分子学会は、著作権、編集委員の任命権を含む、『Polymer Journal』誌の編集権を留保しています。

『Polymer Journal』誌の編集長である高田十志和（たかた としかず）東京工業大学教授は、大岡山キャンパスで次のように話しています。「『Polymer Journal』は、高分子学会の英語論文誌として1970年に誕生して以来、会員だけでなく国内外のさまざまな研究者・技術者の成果公表の場としての重要な役割を果たし、必須の論文誌としてその存在を高めて参りました。幸いにも、40周年を迎える2010年からNPGとの共同出版に至ったことは、さらなる充実・発展を目指す本誌と国際的な役割の高まる高分子学会にとって大変喜ばしいことでございます。高分子学会とNPGとの連携を大いに歓迎するとともに、多くの皆様からの質の高い論文の投稿を期待いたします」

2009年後半には、『Polymer Journal』誌を全世界の高分子学界に紹介するため、同誌掲載の論文がnature.comで無料公開されます。その後、2010年1月からは、本格的なサイトライセンスと定期購読による出版モデルに移行します。

社団法人高分子学会について

高分子学会は、文部科学省認可の社団法人（非営利団体）で、主に学界、産業界、政府機関の高分子科学関連の研究者、エンジニア、管理職、および大学教員と学生が会員になっています。又、数多くの企業が賛助会員や維持会員として参画しています。その主たる役割は、日本と世界における高分子科学および技術の発展に寄与することです。

高分子学会は、1951年に設立され、現在では、日本内外に1万2,000名の会員を有し、高分子科学分野では、世界で最も歴史が長く最大規模の学会の1つです。2001年には設立50周年を迎えました。北海道から九州までの8支部に加え、高分子関連企業の賛助団体である『高分子同友会』が設立されています。

海外では、Pacific Polymer Federation (PPF; 環太平洋高分子連合) および Federation of Asian Polymer Societies (FAPS; アジア高分子連合)の創設学会の一つであり、American Chemical Society (ACS、米国化学会)とRoyal Australian Chemical Institute (RACI、オーストラリア化学会)の学会会員ともなっています。PPFは、環太平洋地域の高分子関連の学協会の連合体であり、隔年ごとにPacific Polymer Conference (環太平洋高分子会議)を開催しています。また、IUPAC (国際純正応用化学連合)のPolymer Division (高分子部会)において、高分子学会の会員が正会員または准会員を務めており、重要な役割を果たしています。

また、高分子学会は、世界各国間での国際的な科学交流に貢献することを目的とした独自の国際会議として、1984年以来、2~3年に1回、SPSJ International Polymer Conference (IPC; 国際高分子会議)を開催しています。

高分子学会に関する詳しい情報は、<http://www.spsj.or.jp/english/whatspsj/spsj.htm> をご覧ください。

NPGとNPGネイチャー アジア・パシフィックについて

ネイチャー・パブリッシング・グループ (NPG) は、Macmillan Publishers Ltdの一部門で、大学、研究機関や企業の研究者や医師のために力を尽くすことを使命としています。NPGの主力誌である『Nature』は1869年に創刊されました。このほかにもNatureリサーチ誌、Nature Reviewsシリーズ、Nature Clinical Practiceシリーズやさまざまな著名学術誌（学会機関誌を含む）など各種刊行物を出版しています。またNPGは、『Nature News』を通じてニュースコンテンツを配信しています。『Naturejobs』では科学関連の求人情報を提供し、無料で利用できる人材募集欄もあります。

NPGネイチャー アジア・パシフィックは、NPGのアジア太平洋部門で、同地域内の科学者や医師の高まるニーズに応えるために設立され、東京、香港、ソウル、デリー、メルボルンに事業所があります。詳しい情報は、www.natureasia.comをご覧ください。

NPGは、ロンドン、ニューヨーク、東京に主たる事業所を置くグローバル企業で、このほか、ベージングストック（英国）、ボストン、ブエノスアイレス、デリー、香港、マドリード、メルボルン、ミュンヘン、パリ、サンフランシスコ、ソウル、ワシントンDCに支社・事業所があります。詳しい情報は、www.nature.comをご覧ください。

◆問い合わせ先:

デイビッド・スウィンバンクス
NPGパブリッシングディレクター
兼NPG ネイチャー アジア・パシフィックCEO
(東京)
Tel: 03-3267-8764
E-mail: d.swinbanks@nature.com

社団法人高分子学会
104-0042 東京都中央区入船3-10-9
新富町ビル6階
Tel: 03-5540-3772
hpj@spsj.or.jp

◆関連ウェブサイト:

The Society of Polymer Science, Japan: <http://www.spsj.or.jp/english-index.htm>
Polymer Journal: <http://www.spsj.or.jp/c5/pj/pj.htm>
Nature Publishing Group: <http://www.nature.com>
NPG Nature Asia-Pacific: <http://www.natureasia.com>
Nature Japan: <http://www.natureasia.com/japan/index.php>